PSZ-1266(14100)

施工説明書

はね上げ式前方ボード用ホルダー

KF-AA482

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ部品交換してください。

●安全上のご注意

●施工前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

注意……「取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠……「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

❗（指示）……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠注　意

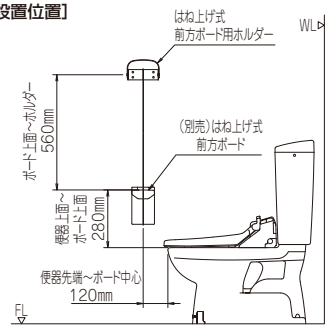
必ず施工説明書の指示どおりに施工してください。 ※誤った施工方法をされた場合、器具が外れ、ケガをする恐れがあります。	❗（指示）
建築構造に合った施工方法により、外れたり、ガタが生じないよう強固に取り付けてください。 ※誤った施工方法をされた場合、器具が外れ、ケガをする恐れがあります。	❗（指示）

取付方向の確認

ホルダーの上下には方向性があります。ホルダーの向きに注意して取り付けてください。

警告 ホルダーの上下を逆に取り付けると、ホルダーがガタついたり、外れたりすることがあります。

[推奨設置位置]



落下事故防止のため、取付部材や壁面の構造等について以下の取付条件を守り、後述の「●固定方法」に従って、固定してください。

〔乾式壁の場合〕
●石こうボード等のボード張りには、木ねじはききません。必ずあらかじめ壁裏に取付木（補強木）を入れ、ねじ込み深さを確保してください。
●取付木（補強木）は柱または間柱に固定してください。
●ボード張りの厚さは12㎜以下を想定しています。厚さが12㎜を越える場合は、越えた分だけ長いねじを別途用意してください。

〔湿式壁の場合〕
●ALC板やコンクリートブロックの中空部には取り付けできません。
●木ずり下地、ラスボード下地への取付けは乾式壁と同じようにあらかじめ壁裏に取付木（補強木）を入れ、必要なねじ込み深さを確保してください。

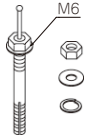
●施工前のご注意

●施工には別売の施工部材をお使いください。
●油などの汚れが付着した手で手すりを握らないでください。
※汚れが取れなくなる恐れがあります。

●固定方法

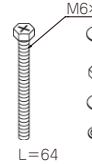
施工部材は別売です。壁の状況にあわせて選択し、別手配してください。

KF-D3(1P)　あと施工アンカー（芯棒打込み式）セット



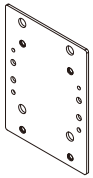
セット内容：
あと施工アンカー（芯棒打込み式）（M6）1本
ナット（M6）1ヶ
平座金1ヶ
バネ座金ヶ

KF-D4　ボルトナットセット

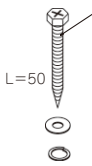


セット内容：
ボルト（M6）4本
ナット（M6）4ヶ
平座金8ヶ
バネ座金4ヶ

KF-D15　取付プレート

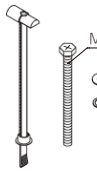


KF-D16　コーチネジセット



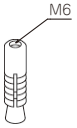
セット内容：
コーチねじ（φ6）4本
平座金4ヶ
バネ座金4ヶ

KF-D30　中空壁用アンカーセット



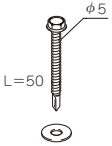
セット内容：
中空壁用アンカー（M6）4本
ボルト（M6）4本
平座金4ヶ
バネ座金4ヶ

KF-D31(1P)　あと施工アンカー（本体打込み式）セット



セット内容：
あと施工アンカー（本体打込み式）（M6）1本

KF-D45　ドリルねじセット



セット内容：
ドリルねじ（φ5）4本
平座金4ヶ

AY-55FN　AYボルトセット

セット内容：
AYボルト（M6）4本

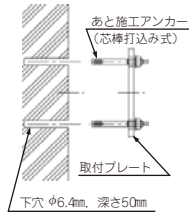
【コンクリート下地】

(1)取付プレート固定

施工部材(フランジ1ヶ所につき)	現場調達部材(フランジ1ヶ所につき)
・KF-D11　1枚 ・KF-D3(1P)4セット	・寸切ボルトM6×(モルタル厚+仕上厚+12㎜) 4本 ・ナット(M6) 4ヶ ・平座金　4ヶ

①前方ボード現物を壁にあてて前方ボードの取付位置をけがきます。
あと施工アンカー（芯棒打込み式）の下穴をφ6.4㎜のドリルで約50㎜の深さにあけます。

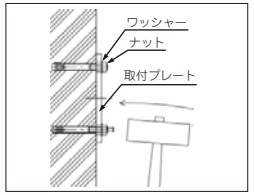
注意 下穴に残った粉は必ずきれいに掃除してください。
※強度が低下する恐れがあります。



あと施工アンカー（芯棒打込み式）のナットをアンカーボルトの上端より2～3㎜ねじ込み、取付プレートの取付穴（外側の穴）に通して下穴に差し込んでください。

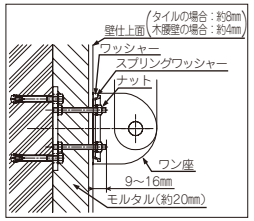
注意 あと施工アンカー（芯棒打込み式）は必ずコンクリート下地に30㎜以上埋め込んでください。
※強度が低下する恐れがあります。

②あと施工アンカー（芯棒打込み式）の打ち込みピンをアンカーボルト上端に当たるまで打ち込んだ後、ナットを締め付けてください。



③取付プレートのボルト穴に寸切ボルトをねじ込み、ナットで締め込んでください。寸切ボルトの長さは壁仕上げ面より9～16㎜出る長さが必要です。

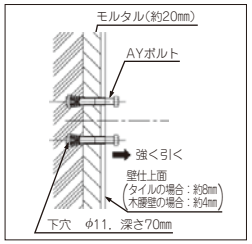
④壁を仕上げた後、フランジの取付穴にボルトを通し、ナット、ワッシャーで強固に締め付けてください。
最後にワン座を仕上げ面に押しつけます。



(2) AYボルト固定

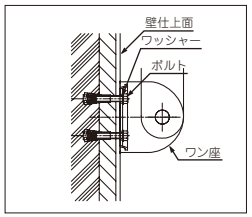
施工部材(フランジ1ヶ所につき)	現場調達部材(フランジ1ヶ所につき)
・AY-55FN　1セット	(なし)

①前方ボード現物を壁にあてて前方ボードの取付位置をけがき、ドリルで下穴をあけます。（下穴φ11㎜、深さ70㎜）
AYボルトを差し込んで、下穴の入り口面でゴム筒の端を押さえ、ボルト部を強く引っ張ってボルトをしっかりと固定します。



注意 AYボルトはコンクリート下地に必ず30㎜以上埋め込んでください。
※強度が低下する恐れがあります。

②いったんボルトをはずして、前方ボードを取り付けます。最後にワン座を仕上げ面に押しつけます。



株式会社 LIXIL

●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センターまで
ナビダイヤル TEL 0570-017-173
受付時間　平日　9:00～18:00
土日・祝日　9:00～17:00
（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休暇は除く）

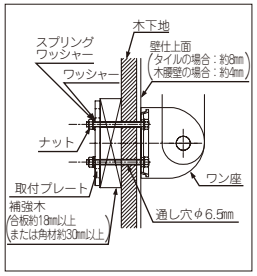
【木下地】

(1)はさみ込み固定

施工部材(フランジ1ヶ所につき)	現場調達部材(フランジ1ヶ所につき)
・KF-D11　1枚 ・KF-D4　1セット	(なし)

①事前に前方ボード取付部に補強木を取り付けてください。

②前方ボード現物を壁にあてて前方ボードの取付位置を決め、φ6.5mmのドリルでボルトの通し穴をあけます。
ボルトをワッシャーとフランジの取付穴に通して、通し穴に差し込みます。
補強木：合板18mm以上または角材30mm以上



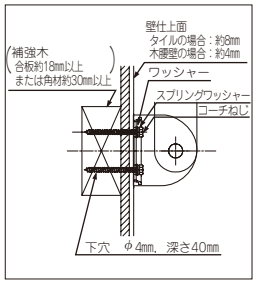
③壁の裏側から取付プレートをあてて、スプリングワッシャー、ナットで強固に締め付けます。最後にワン座を仕上げ面に押しつけます。

(2)コーチねじ固定

施工部材(フランジ1ヶ所につき)	現場調達部材(フランジ1ヶ所につき)
・KF-D16　1セット	(なし)

①事前に前方ボード取付部に補強木を取り付けてください。

②前方ボード現物を壁にあてて前方ボードの取付位置を決め、木部の下穴をφ4mmのドリルであけます。
※仕上げがタイルの場合は、タイル部のみφ6.5mmの下穴をあけてください。



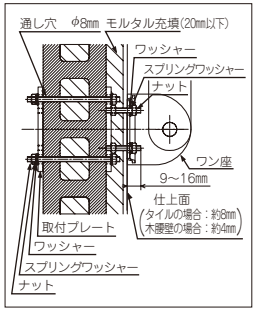
③コーチねじにワッシャーを通し、フランジの取付穴より前方ボードを固定してください。
最後にワン座を仕上げ面に押しつけます。
補助木：合板18mm以上または角材30mm以上

【コンクリートブロック下地】

取付プレートはさみ込み固定

施工部材（フランジ1ヶ所につき）	現場調達部材（フランジ1ヶ所につき）
・KF-D15　2枚 ・平座金　12ヶ	・寸切ボルトM6×(モルタル厚＋仕上厚＋12mm）4本 ・寸切ボルトM6×(ブロック厚20mm）4本 ・バネ座金　8ヶ ・ナット(M6）16ヶ

①前方ボード現物を壁にあてて取付位置をけがきます。取付プレートの外側の穴に合わせて、φ8mmの通し穴をドリルであけてください。
寸切ボルト（現場調達）を通し穴に差し込み、ブロック両側に取付プレートをあてがって、両側よりナット、ワッシャーで締め付けてください。



②前方ボード取付側の取付プレートのボルト穴（内側の穴）に、寸切ボルト（現場調達）をねじ込み、ナットで締め付けてください。寸切ボルトの長さは壁仕上げ面より9～16mm出る長さが必要です。

③壁を仕上げてからフランジの取付穴にボルトを通し、ナット、ワッシャーで強固に締め付けてください。最後にワン座を仕上げ面に押しつけます。

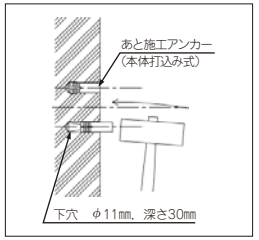
【GL工法】

あと施工アンカー（本体打込み式）固定

施工部材（フランジ1ヶ所につき）	現場調達部材（フランジ1ヶ所につき）
・KF-D31(1P）4セット	・寸切ボルトM6×（モルタル厚＋仕上厚＋42mm）4本 ・平座金　1ヶ ・バネ座金　4ヶ ・ナット(M6）4ヶ

①前方ボード現物を壁にあてて取付位置を決め、φ11mm、深さ30mmの下穴をあけてください。

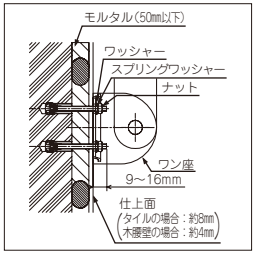
注意 下穴に残った粉は必ずきれいに掃除してください。
※強度が低下する恐れがあります。



下穴にあと施工アンカー（本体打込み式）を入れ、アンカーを打ち込みます。

②寸切ボルト（現場調達）を取り付けた後、壁を仕上げます。寸切ボルトの長さは壁仕上げ面より9～16mm出る長さが必要です。

③フランジの取付穴にボルトを通し、ナット、ワッシャーで強固に締め付けてください。
最後にワン座を仕上げ面に押しつけます。



【軽量鉄骨下地】

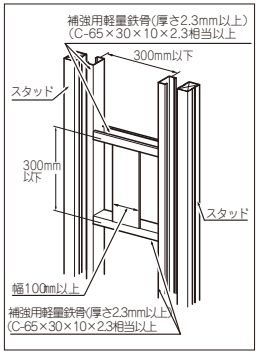
(1）中穴壁用アンカー固定

施工部材(フランジ1ヶ所につき)	現場調達部材(フランジ1カ所につき)
・KF-D30　1セット	・t0.8mm鋼板

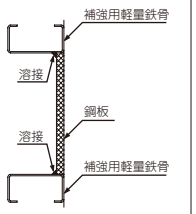
(2）ドリルねじ固定

施工部材(フランジ1ヶ所につき)	現場調達部材(フランジ1カ所につき)
・KF-D45　1セット	・鋼板（t=3.2mm以上4.0mm以下）

①事前に図のように補強用軽量鉄骨を配置し、鋼板を溶接しておきます。

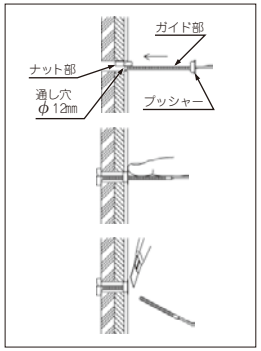


注意 鋼板は必ず鉄骨に溶接してください。
※強度が足りない恐れがあります。



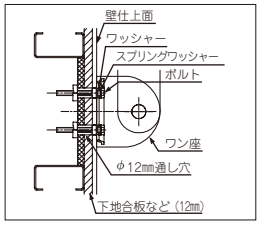
②前方ボード現物を壁にあてて取付位置を決め、ドリルであけます。

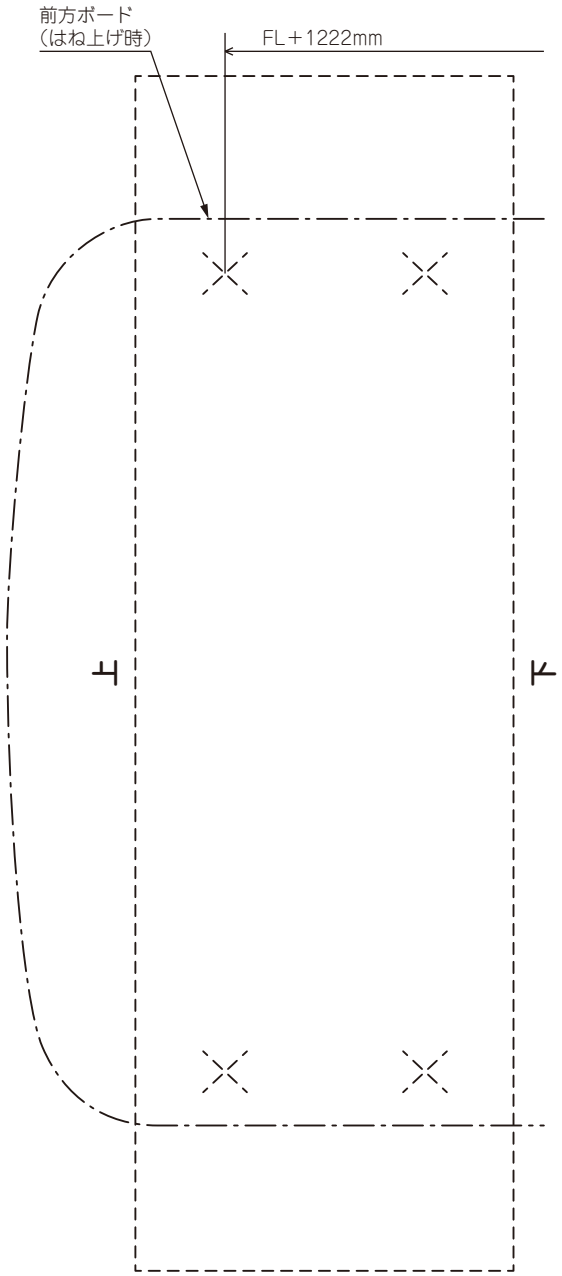
③中空壁用アンカーのナット部を折りたたんで下穴に挿入します。樹脂製のプッシャーを指で押し込みながら、樹脂製のガイド部を引っぱります。
カッター等で不要なガイド部を切り取ります。



注意 下穴に残った粉は必ずきれいに掃除してください。
※強度が低下する恐れがあります。

④フランジの取付穴にワッシャー、ボルトを通し、プッシャーに差し込んで強固に締め付けてください。
最後にワン座を仕上げ面に押しつけます。





［型紙］取付時に使用してください。